令和元年度大阪府がん対策推進委員会

肝炎肝がん対策部会（概要）

１．日　時：令和２年２月１２日（木）１８時～

２．場　所：大阪国際がんセンター　６階中会議室２

３．議　事：

（１）大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について

（２）肝炎ウイルス検査の重点勧奨について

（３）肝炎コーディネーターの配置について

（４）肝炎専門医療機関の現況報告について

（５）肝炎フォローアップ事業について

　　①　肝炎等克服政策研究事業を利用した大阪府における肝炎フォローアップ事業について

　　②　肝炎ウイルス検診の精度管理について

（６）第３期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について

（７）第３期大阪府がん対策推進計画の中間点検・見直しの方向性について

（８）その他

４．委員からの意見要旨と審議結果

（１）大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について【資料１、参考資料】

【審議結果】

○新たに肝炎専門医療機関の申請があった７施設、同協力医療機関に申請があった８施設の指定を承認

（２）肝炎ウイルス検査の重点勧奨について【資料２】

【意見要旨】

○市町村間で受診者数に偏りがあるためこれを均てん化することが必要。対象者の掘り起こしが、まだまだできると思われる。

○術前検査で陽性と判明した方に対し、確実に精密検査に繋げていくことが重要。府から働きかけを。

【審議結果】

〇重点勧奨の対象を60～70歳代とすることで了承。

（３）肝炎コーディネーターの配置について【資料３】

【意見要旨】

　〇肝炎医療コーディネーターの活動の参考とするため、具体的な取り組み事例の発表の場を設けるなどしてはどうか。

【審議結果】

　　　　〇肝炎医療コーディネーターの配置機関の対象を、薬局・患者団体に拡大することを了承。

（４）肝炎専門医療機関の現況報告について【資料４】

（５）肝炎フォローアップ事業【資料５－①②】

①肝炎等克服政策研究事業を利用した大阪府における肝炎フォローアップ事業について

②肝炎ウイルス検診の精度管理について

【意見要旨】

○肝炎は自覚症状がほとんどないが、何もせず放置すると、将来、肝硬変や肝がんに移

行する場合がある。これらのことを、調査票を送付する際に明確に患者に対して伝え

るよう工夫を。

〇精密検査受検後等に、定期的な検査が必要とされた方が重症化しないよう、全国で大阪府だけが未実施である定期検査に係る費用助成をぜひとも実施してほしい。

（６）第３期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について【資料６】

　　　【意見要旨】

○肝炎ウイルス検査受診者数増に対しては、患者の掘り起こしが必要。他の検診と同時

実施するなど効果的に取り組むよう市町村に働きかけを。

〇日々の仕事に忙殺されて、なかなか肝炎医療コーディネーターとしての取り組みができない人もいる。コーディネーターとしての活動を後押しできるようなことを、府としても考えてほしい。

〇肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について、本制度の利用実績が少ないので、周知、啓発の充実が必要。

【審議結果】

　〇進捗管理について、資料６のとおりとすることで承認。

（７）第３期大阪府がん対策推進計画の中間点検・見直しの方向性について【資料７】

【審議結果】

〇中間点検・見直しの方向性について、資料７のとおりとすることで承認。